

事業紹介

金属 3D プリントをより身近なものに！

【キーワード】 デジタルものづくり、金属 3D プリント、金属積層造形、セミナー、ワークショップ

【背景】

輸送機器産業では、開発期間短縮や軽量化などが求められており、その解決のために、デジタルものづくりの新たな金属加工法である、金属 3D プリントの活用が期待されています。しかし、金属 3D プリントは、「装置や材料が高価である」、「造形にノウハウが必要である」といった現状から、「使ってみたいがハードルが高い装置」という声も多く聞かれ、その技術は未だ普及途上といえます。

そこで、浜松工業技術支援センターでは金属 3D プリントを身近に感じてもらうセミナーとワークショップを開催し、活用していただくための取組を行っています。

【概要について】

セミナーは令和5年1月の装置導入以来、8回開催しました。セミナーの構成は、大学研究者やメーカー技術者等による講演と、造形品や装置の見学会となっています。講演は、金属積層造形の基礎や活用事例、造形工程や量産金型に関するもの等、参加者のアンケート結果を元に毎回テーマを設けており、参加者は延べ 327 社 654 人にのぼります。

ワークショップは令和5年6月から4回開催しており、造形データの作成、造形、後加工の基礎を学べる実習内容となっています。参加者は延べ 35 社 36 人であり、参加者のアンケートでは、「基礎をひとつと体験でき、勉強になった」との声を多くいただいています。

次回 12 月のセミナーは中部経済産業局と共催し、金属積層造形だけでなく他業種や他機関との協業をテーマにした「Meet up Chubu」として開催します。同じく 12 月のワークショップは、形状最適化ソフトウェアを利用した金属 3D プリントならではの造形データ作りを加え、これまでより実践的な内容となっています。今後も皆様に興味を持っていただける企画を提案していきますので、ぜひ御参加下さい！



図1 セミナー



図2 ワークショップ

お問い合わせ先 浜松工業技術支援センター
材料科
電話 053-428-4156